

平成 2 9 年度

社会福祉法人 若楠

事業報告書

目 次

本部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p 3～ 6

- I 法人の運営概要
- II 理事会・評議員会及び監事の監査状況
- III 職員研修・福利厚生事業
- IV 入札を伴う契約及び随意契約
- V その他法人主催行事

若楠療育園・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p 7～18

- I 運営概要
- II 利用者の状況
- III 事業の実施状況
- IV 地域社会と交流
- V 総務

若楠児童発達支援センター・・・・・・・・・・・・ p 19～22

- I 運営概要
- II 利用者の状況
- III 事業の実施状況

若木園・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p 23～32

- I 運営概要
- II 利用者の状況
- III 事業の実施状況
- IV 保健衛生
- V 食事班
- VI 地域支援
- VII 地域社会と交流
- VIII 総務

青葉園・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p 33～40

- I 運営概要
- II 利用者の状況
- III 事業の実施状況
- IV 生産型活動における生産品等、販売実績
- V 保健衛生班
- VI 栄養課
- VII 総務課
- VIII 障害福祉サービス事業及びその他社会福祉事業の実施状況
- IX 地域社会との交流

もしもしネット・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p 41～44

- I 障害者就業・生活支援センター事業の実施
- II 研修の受講
- III その他
- IV 総括

どんぐり村・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p 45～48

- I 運営概要
- II 利用者の状況
- III 事業の実施状況
- VI 地域社会との交流
- V 総務

グリーンファーム山浦・・・・・・・・・・・・・・・・ p 49～54

- I 運営の概要
- II 利用者の状況
- III 事業の実施状況
- IV 地域社会と交流
- V 総務

本 部

I 法人の運営概要

平成29年度は、運営の安定化と社会福祉法人制度改革への対応に取り組んだ。29年度も大きな事故なく、運営を行うことができた。一方、サービスの向上のためには、人材の育成や働き方の改革を必要とし、今後の課題である。制度改革については、平成28年度の法改正への対応と新制度の実行を行った。また、人材育成の面では、離職防止・健康促進のため個別面談やメンタルヘルス研修を実施、職員の教育にも取り組んだ。

法人全体として、福祉を取り巻く環境の変化の中で、「法人若楠の基本理念」からぶれることなく、安定した運営・サービスの向上・職員の育成に努めることができた。

II 理事会・評議員会及び監事の監査状況

1 理事会の開催

第1回 理事会

日時 平成29年5月26日（金） 午後3時00分より

場所 若楠療育園 会議室

理事出席者 7/7名 監事出席者 2/2名

議題 第一号議案 平成28年度事業報告並びに決算

第二号議案 基本財産の処分

第三号議案 理事・監事並びに会計監査人の推薦

第四号議案 諸規則・諸規程の改正

第五号議案 施設・設備等整備事業

第六号議案 定時評議員会の日程について

報告事項 ・平成28年度指定障害福祉サービス事業者等実地指導通知書及び改善報告書(若楠療育園/若楠児童発達支援センター・青葉ホーム)

第2回 理事会

日時 平成29年6月16日（金） 午後5時00分より

場所 花やしき

理事出席者 9/9名 監事出席者 2/2名

議題 第一号議案 理事長及び副理事長、常務理事の選任

第3回 理事会

日時 平成29年12月1日（金） 午後4時00分より

場所 マリーゴールドブルミエ

理事出席者 8/9名 監事出席者 2/2名

議題 第一号議案 平成29年度予算執行状況

- 第二号議案 平成 29 年度補正予算案
- 第三号議案 運営規程の改正
- 第四号議案 施設・設備等整備事業
- 報 告 事 項
 - ・施設基準等に係る適時調査の改善報告書「若楠療育園」
 - ・鳥栖保健福祉事務所立入検査の結果「若楠療育園」
 - ・平成 29 年度指定障害福祉サービス事業者等実地指導結果通知書及び改善状況報告(青葉園/若楠児童発達支援センター/若楠療育園)
 - ・同 (若木園/若木園 空飛ぶ木馬)

第 4 回 理事会

- 日時 平成 30 年 2 月 26 日 (月) 午後 1 時 00 分より
- 場所 若楠療育園 プレイホール
- 理事出席者 6/9 名 監事出席者 1/2 名
- 議題 第一号議案 平成 29 年度予算執行状況
- 第二号議案 平成 29 年度補正予算案
- 第三号議案 平成 30 年度事業計画案
- 第四号議案 平成 30 年度予算案
- 第五号議案 諸規程の改正
- 第六号議案 施設・設備等整備事業
- 報 告 事 項
 - ・平成 29 年度指定障害福祉サービス事業者等実地指導結果通知書及び改善状況報告「どんぐり村」
 - ・監事意見書 (若木園/若木園 空飛ぶ木馬・どんぐり村)

2 評議員会の開催

定時評議員会

- 日時 平成 29 年 6 月 16 日 (金) 午後 4 時 00 分より
- 場所 花やしき
- 評議員出席者 10/10 名 監事出席者 2/2 名
- 議題 第一号議案 平成 28 年度事業報告並びに決算
- 第二号議案 基本財産の処分
- 第三号議案 理事・監事並びに会計監査人の選任
- 第四号議案 役員報酬及び旅費規程の改正

臨時評議員会

- 日時 平成 29 年 3 月 2 日 (金) 午後 3 時 00 分より
- 場所 若楠療育園 プレイホール
- 評議員出席者 7/10 名 監事出席者 2/2 名
- 議題 第一号議案 平成 30 年度事業計画案

第二号議案 平成 30 年度予算案

第三号議案 役員報酬及び旅費規程の改正

評議員会書面決済

決議 平成 30 年 4 月 1 日（日）

提案者 理事 西田 智浩

議決に加わることのできる評議員 10 名

議題 理事 1 名の選任の件（前田博敏氏の理事の選任）

3 監事の監査

第 1 回監査（平成 29 年 5 月 25 日）

平成 28 年度決算内容及び各施設の諸帳簿、財務諸表等の監査（平成 28 年度決算最終監査）

法人全体の平成 28 年度における預金通帳、諸帳簿、入園者の処遇及び預り金等の監査

Ⅲ 職員研修・福利厚生事業

1 職員研修

新採用職員研修

日 時 1 班 平成 29 年 4 月 3 日（月）、4 日（火）

2 班 平成 29 年 4 月 17 日（月）、18 日（火）

午前 8 時 30 分から翌日午後 5 時 15 分まで

場 所 若楠療育園プレイホール、どんぐり村研修室、各施設

内 容 労務・職員の心得・法人理念・福祉制度・理念の実践演習等、各施設見学

新採職員どんぐり村実習

日 時 平成 29 年 4 月 29 日（土）～5 月 7 日（日）

午前 8 時 30 分から午後 5 時 15 分まで

場 所 どんぐり村

内 容 実地研修

1 年経過者職員研修

日 時 1 班 平成 29 年 5 月 19 日（金） 2 班 平成 29 年 6 月 2 日（金）

3 班 平成 29 年 6 月 9 日（金） 午後 1 時から午後 5 時まで

場 所 若楠療育園 プレイホール

内 容 法人理念、グループ討議「1 年を振り返って」、
先輩からのメッセージ、自己目標の発表

リーダー研修

日 時 平成 29 年 7 月 13 日（金） 午後 1 時から午後 5 時まで

場 所 若楠療育園 プレイホール

内 容 理事長講話、ディスカッション

メンタルヘルス研修

日 時 1 班 平成 29 年 10 月 26 日（金） 2 班 平成 29 年 11 月 2 日（金）
午後 1 時から午後 5 時まで
場 所 若楠療育園 プレイホール
内 容 講話「メンタルヘルスについて」、グループ討議

課長等研修

日 時 平成 29 年 1 月 19 日（金） 午後 1 時から午後 5 時まで
場 所 若楠療育園 プレイホール
内 容 講話視聴、「危機管理の中で、課長に求められる役割と実践力」

2 運営

平成 29 年度中間業績報告会

日 時 平成 29 年 11 月 13 日（金） 午後 1 時から午後 5 時まで
場 所 花やしき
内 容 法人若楠の運営方針・各施設の平成 29 年度事業中間報告

平成 30 年度事業計画説明会

日 時 平成 29 年 3 月 12 日（金） 午後 1 時から午後 5 時まで
場 所 マリーゴールドブルミエ
内 容 法人若楠の運営方針・各施設の平成 30 年度事業計画発表

3 福利厚生

職員健康診断

期 日 平成 29 年 9 月 11 日（月）～15 日（金）、9 月 19 日（火）～20 日（水）
検査項目 35 歳以上 生活習慣病健診 35 歳未満 定期健診
対 象 者 503 名（受診者 430 名・他病院 73 名）

夜勤者健康診断

期 日 平成 30 年 2 月～3 月
検査項目 一般健診
対 象 者 夜勤者 165 名（若楠療育園 57 名・若木園 30 名・青葉園 78 名）

コーワパークホテル湯布院倶楽部利用券発行 利用促進の案内(随時)及び利用券の配布

V 入札を伴う契約及び随意契約

入札を伴う契約・・・該当なし 随意契約・・・・・・該当あり

VI その他法人主催行事

平成 29 年 4 月 3 日（月） 新年度会（入社式）
平成 29 年 5 月 1 日（月） 第 40 回創立記念式典（永年勤続者表彰）
平成 30 年 1 月 4 日（木） 新年挨拶の会

若楠療育園

I 運営概要

1 運営方針（実施結果）

若楠療育園は、社会福祉法人若楠の基本理念のもと各事業における支援の質の向上を図り、入園・在宅利用者のニーズに真摯に応えるとともに、地域連携・地域貢献にも力を注いだ。

（1）適正な人員配置を維持し、各種個別支援計画のもと快適で安全なサービスを実施

産休育休等の職員への支援を行いながら、適正な人員配置を保つことができた。また、利用者一人ひとりの状況に応じた良質かつ安心していただけるサービスの提供に努めることができた。

（2）短期入所事業等の地域福祉サービスの拡大及び利用者増

短期入所事業では、医療的ケア児等在宅支援事業の受諾等によりケースワーカーを設置、微増ではあるが重度の障害児者の利用増に繋がった。今後も在宅ニーズを踏まえ、医療的ケア児等も含めた重度障害児者の利用の拡大に努める。

（3）地域の障害児者・法人内施設利用者等への外来診療（歯科を含む）の利用増

小児科医の増員もあり、外来患者数に加え発達障害関連の診察・検査・紹介状の作成、健診、予防接種等も増加した。また、歯科診療では、診療設備を整えたことにより患者増にも繋がった。

（4）防犯・防災体制の強化

利用者の安心安全な生活維持のために、防犯に対しては監視カメラの増設・園内の施錠時間の限定等による不審者対策を行った。防災に対しては、毎月の防災訓練に加え、災害を想定した防災食提供の訓練も行い、有事の際にも安定したサービスが提供できるよう体制づくりに努めた。

II 利用者の状況

1 年齢

（1）療養介護・医療型障害児入所（入所）

年齢	20 未満	20～39	40～59	60～	合計
男	1	12	8	15	36
女	0	11	14	18	43

（2）生活介護（通所）

年齢	20 未満	20～39	40～59	60～	合計
男	0	15	1	0	16
女	1	10	3	0	14

(3) 児童発達支援（重心）

年齢	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	合計
男	1	1	0	1	3	6
女	0	0	0	0	1	1

(4) 放課後等デイサービス（重心）

年齢	7 歳	8 歳	9 歳	10 歳	合計
男	0	3	1	1	5
女	2	1	0	1	4

Ⅲ 事業の実施状況

1 医療部

(1) 医療課（外来）

①平成 29 年度の外来数は、昨年度より微増ではあるが上回っている。小児科医の増員も行い、充実した診療体制が確保できた。

②予防接種は実人数ベース 1,031 人（昨年度比 155%）で大幅な増加を認めた。その要因として子育て支援センター（どんぐりセンター等）の利用者増が考えられる。

＜外来者総数＞

	青葉園	若木園	職員	一般外来	年度計
29 年度	2,601	1,470	1,025	13,348	18,444

＜外来受診状況＞

	小児科	発達外来	精神科	内科	皮膚科	リハ科	年度計
29 年度	1,794	10,024	3,625	492	418	81	16,434

＜外来受診状況 保険外＞

	一般健診	乳児健診	予防接種	インフル	診断書	年度計
29 年度	375	55	1,031	1,074	392	2,927

(2) リハビリテーション課

①「障害児（者）リハビリテーション料」施設基準

- ・施設基準に基づいた入園者、在宅利用者への理学療法（PT）、作業療法（OT）、言語聴覚療法（ST）の実施。

- ・入園者については 3 職種の全ての担当者を配置。加齢に伴う機能低下等の早期発見、報告、対応に努めた。

②佐賀県障害児療育等支援事業

- ・県内在住の希望者、通所事業所に対して「外来相談」「訪問相談」「研修会講師派遣」を行った。

③法人内施設ニーズへの対応

- ・青葉園、若木園利用者に対しては定期時間枠を設け、各専門職が対応した。

④専門性の研鑽

- ・担当分野を明確に研修参加などにより専門性の向上に努めた。
 (PT)「疼痛」「呼吸」「乳児期運動発達」
 (OT)「日常生活動作」「福祉用具」「認知機能」
 (ST)「コミュニケーション」「摂食・嚥下機能」「社会的技能」

(3) 歯科

①診療実績

- ・実患者数とのべ患者数でそれぞれ前年度比 115.2%、113.5%と増加した。
- ・他施設からの紹介患者 16 名。
- ・全身麻酔は 41 名実施。

②保険収入

- ・前年度比 112.6%と増加した。

③研究活動

- ・日本障害者歯科学会（福岡）にて 3 演題の発表を行った。

④地域への貢献

- ・日本小児歯科学会九州地方会シンポジウムに講師派遣。
- ・佐賀県歯科医師会の障害者歯科地域協力医研修会に講師派遣。
- ・鳥栖・三養基地区の歯科医師会や保健福祉事務所と連携し、難病患者等歯科保健事業ネットワーク検討会に参加。
- ・歯科衛生士学校の講師派遣（3 校）と当園での臨床実習指導（1 校）の実施。

<平成 29 年度 歯科受診者状況>

(のべ患者数)

	若楠療育園	青葉園	若木園	一般外来	職員	合計
28 年度	1,073 名	684 名	332 名	1,847 名	36 名	3,972 名
29 年度	1,073 名	1,243 名	329 名	1,822 名	41 名	4,508 名
前年比	100.0%	184.4%	99.1%	99.1%	113.9%	118.5%

<平成 29 年度 紹介元>

	開業歯科	佐賀整肢学園歯科	久留米大学病院歯科口腔医療センター	聖マリア病院・歯科	福岡大学
29 年度	5 名	1 名	6 名	3 名	1 名

(4) 栄養課

①栄養管理・入園者の食形態

<食種別人数の変化>

平成 29 年 4 月昼食 80 名		平成 30 年 3 月昼食 79 名	
常食	47	常食	50
減塩食	2	減塩食	1
糖尿病食	2	糖尿病食	2
脂質異常食(減 1 含む)	2	脂質異常食(減 1 含む)	2
膵臓食	1	膵臓食	1
消化食	1	消化食	1
絶食	4	絶食	1
流動食	21	流動食	21

＜食形態別人数の変化＞

	常食	荒刻み食	刻み食	ソフト食	荒ミキサー食	ミキサー食	流動食
平成 29 年 4 月 朝	15 名	4 名	20 名 (昼・夕+1)	7 名	0 名	1 名	27 名
昼のみ(ソフト食 11 名、ミキサー食 5 名) 主食のみソフト食(昼のみ合わせて)13 食							
平成 30 年 3 月 朝	15 名	5 名	20 名 (昼・夕+1)	9 名	0 名	1 名	29 名
昼のみ(ソフト食 11 食、ミキサー食 3 食) 主食のみソフト食(昼のみ合わせて)10 食							

＜地域支援・児童発達の昼月述べ平均＞

事業名	月平均食数	事業名	月平均食数
生活介護	334 食(短期入所昼食含む)	短期入所	朝 33 食 昼 47 食 夕 37 食
児童発達	89 食(発達 65 重心 24)	託児所	143 食

(5) 薬剤

- ①若楠療育園入園者の重度化高齢化・一般外来利用者の増加により、調剤数増加。
- ②調剤室が 2 ヲ所あることを有効に活用し、調剤・監査・在庫管理を効率化。
- ③外来において、小児神経系の医薬品が増加している。
- ④平成 29 年 6 月末に全自動分割分包機を導入し、調剤効率を上げる事ができた。

＜各施設の調剤数＞

	26年度	27年度	28年度	29年度
若楠療育園	15,172	15,858	14,947	16,180
青 葉 園	1,536	1,552	10,369	10,354
若 木 園	5,616	5,730	5,377	5,483
グループホーム	677	652	1,154	1,170
一般外来	4,741	6,253	6,740	7,723
合計	27,742	30,045	38,587	40,910

(6) 放射線

- ①29 年度も撮影件数の増加が見られた。その要因として入園者の高齢化や重症化、外来者数の増加、骨密度のフォロー検査などの施行が考えられる。

＜エックス線撮影件数（年度別）＞

26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
627 件	704 件	851 件	902 件

<平成 29 年度 X線検査総数>

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
ポータブル・撮影室	胸部	88	143	116	12	28	31	26	25	21	16	9	13	528
	腹部	2	4	6	2	3	4	4	2	13	6	9	9	64
	軀幹部骨	2	4	1	1	1	2	0	0	2	3	0	0	16
	四肢骨	1	1	1	2	0	6	7	1	4	0	1	0	24
	骨塩定量	0	0	0	17	16	13	0	0	1	17	14	12	90
	PEG・MT 交換	5	3	9	0	2	2	7	6	0	0	1	1	36
	カテーテル交換	0	0	2	2	0	3	0	0	0	0	0	0	1
	全脊椎	0	1	1	0	1	2	1	0	3	1	1	1	851
	小計	98	156	136	36	51	63	45	34	44	43	35	36	777
透視室	PEG・MT 交換	0	2	0	0	0	0	1	0	0	3	2	3	11
	カテーテル交換	0	1	0	4	2	0	2	3	1	0	0	0	13
	消化管造影	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	小計		3	0	4	2	0	4	3	1	3	2	3	25
	セファロ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	デンタル	7	5	5	4	5	5	4	4	0	3	6	2	50
	パノラマ	7	4	5	4	5	5	4	4	0	3	6	2	49
	小計	14	10	10	8	10	10	8	8	0	6	12	4	100
	総計	112	169	146	48	63	73	57	45	45	52	49	43	902

2 入所支援部

(1) 看護課

①10 対 1 の看護体制の継続と看護・介護サービスの安定化

- ・10 対 1 の看護体制は継続することができた。
- ・看護・介護実習生を受け入れや、看護学校・中学校での講師派遣等により重心看護介護の魅力を発信した。
- ・定期的な記録委員会の実施により基礎データⅠ・Ⅱの見直しやデータ入力行った。
- ・年間スケジュールに沿った勉強会を実施し、知識・技術の向上に繋げた。

②短期入所事業の充実と利用拡大

- ・ナース会議で短期入所利用状況の報告を行い、現状の課題等全体で共有を図った。家族の思いに沿ったサービスを継続している
- ・目標は 1 日 3 名であったが、年度末結果は 1 日利用 2.5 名。次年度の課題となった。
- ・新規契約者 7 名、短期入所から 2 名入所事業に移行。
- ・第 2 生活棟内の部屋の見直しを行い、プライバシー確保に繋げることができた。
- ・ケースワーカーが計画的に予約情報を発信、入所、在宅との連携を行なった。

③感染防止、医療安全対策の強化

- ・インシデント・アクシデント報告の傾向と課題の徹底検索とインシデント報告増加を促すことによる気づきの強化をおこなった。

- ・園内研修にて感染予防対策、骨折防止の為の安全な移乗介助研修を行った。
- ・職員制服の施設によるクリーニング化、自動手指消毒機をジェル状に変更し各入り口に配置等により感染経路の遮断に努めた。
- ・インフルエンザに対する予防対策を徹底し危機意識の向上に努めたため、利用者からのインフルエンザの発生はなかった。
- ・利用者の高齢化重度化に伴い、安全安心を第一に考えた楽しみの中に無理のない生活支援に心がけた。

(2) 生活支援課

①適切な個別支援計画書の作成と実施及び他職種との連携

- ・定期的なモニタリング評価による支援状況の把握と支援内容の確認・変更を行い、一人ひとりのニーズの変化に迅速に応えた。
- ・特に身体状況の変化に伴った生活のしやすさを考え、安心して過ごせる環境の追求を行っていった。
- ・個別支援計画を医療看護・リハビリと連携し実施、生活の質の向上を図った。

②ユニットケアの充実

- ・ユニット活動の計画と実施及びユニット独自の活動の展開を行った。
- ・利用者の高齢化重度化に伴い、安心安全を第一に考えた楽しみの中に無理のない生活支援に努めた。

③職員のスキルアップ

- ・専門職として様々なアイディアを取り入れ支援する側受ける側がお互いの楽しみに繋がるよう取り組んだ。
- ・課内にて福祉制度への迅速な対応ができる体制を整えた。

④保護者と信頼関係の構築

- ・情報交換を密に行い適切かつ迅速な対応による安心と信頼感の構築に努めた。
- ・三人行事では、保護者の会と連携を保ち、利用者、保護者の楽しんでいただける行事を実施した。
- ・年2回の面談会では、個々の支援状況・評価を的確に保護者・後見人へ伝え信頼関係の構築に繋げた。

⑤新規ボランティアの発掘とコーディネート強化

- ・定期的な活動参加や関わり等、ボランティアと一緒に入園者の楽しみへの取り組みを促進した。
- ・地域の方との関わり強化のためボランティアコーディネートにも力を入れた。
- ・活動中のボランティアより紹介を頂き、ボランティアの新規発掘へ繋がられた。

<年間行事>

月	行 事	月	行 事
4月	花祭り(5日) 中原特別支援学校入学式(10日) 保護者の会総会(16日) 誕生会(22日) 前期面談会(8～24日)	10月	療育園祭(22日) 誕生会(28日) お楽しみ・ショッピング(19日)
5月	創立記念日式典(1日) 野球観戦(8日) 誕生会(20日) トロ親会(21日) 保護者の会勉強会(28日)	11月	若楠保護者の会ボランティア(23日) 青葉園感謝祭(23日) 誕生会(25日)
6月	聖ヨゼフ園交流会(14日) 誕生会(17日) わかす杯ふうせんバレー大会(24日) 総合防災訓練(21日) お楽しみ会・サーカス観覧(29日)	12月	若楠療育園クリスマス会(16日) 保護者・職員懇親会(16日) 誕生会(23日) 餅つき(28日)
7月	ボランティア勉強会(23日) 若楠ファミリーデー(9日) 誕生会(22日) 第2生活棟夏祭り(18日)	1月	新年の祝い(1～3日) 成人の祝い(6日) 誕生会(27日)
8月	弥生が丘夏祭り(19日) 誕生会(26日) 第1生活棟夏祭り(31日)	2月	法人若楠ボランティア懇親会(4日) 園内研究発表会(14日) 誕生会(24日) 梅まつり(25日)
9月	野球観戦(3日) 後期保護者面談会(16～23日) 夜間防災訓練(15日) 誕生会(23日) お楽しみ・温泉(28日)	3月	カップ座(4日) 中原特別支援学校卒業式(12日) すき焼き会(14日) 誕生会(24日) ヴァイオリン・チェロ・ピアノ演奏会(26日)

※季節・小行事、ユニット行事(家族参加も含む)はユニット単位で行った。

3 地域支援部

(1) 地域支援課

①生活介護事業

<利用者数推移>

	登録者数	実施日数	利用延人数	1日平均利用者数
28年度	34名	289日	3,559名	12.3名
29年度	30名	252日	3,550名	14.1名
前年度比	-4名	-37日	-9名	+1.8名

- ・配置基準や加算基準を確認し適切な支援を行うことができた。
- ・特別支援学校の実習生を受け入れ、30年度新規利用者に繋げることができた。
- ・研修の参加や知識の共有も図り、質の高い支援を実施することができた。
- ・新アセスメントシートを導入し、重症者へのサービス向上に努めることができた。

②多機能型(重心)児童発達支援・放課後等デイサービス

<利用者数推移>

	登録者数	実施日数	利用延人数	1日平均利用者数
28 年度	13 名	234 日	1,051 名	4.5 名
29 年度	14 名	238 日	1,024 名	4.3 名

- ・放課後等デイサービスの適切な評価と公表を実施することができた。
- ・重症児に対するサービス提供体制を整えることができた。
- ・新規利用児の受入を行うことができた。

③日中一時支援事業

<利用者数推移>

	利用契約者	利用延人数	1 日平均利用者数
28 年度	62 名	1,800 名	4.9 名
29 年度	75 名	1,885 名	5.0 名

- ・重症児との契約が増加した。

④居宅介護事業

<利用者数推移>

	利用契約者	利用延件数	1 日平均利用件数
28 年度	32 名	2,258 件	6.8 件
29 年度	20 名	1,885 件	5.1 件

- ・常勤職員 1 名減となり、利用件数は減少したもののサービスの質の向上に努めた。

⑤福祉有償運送サービス

<利用者数推移>

	利用契約者	福祉有償運送サービス延件数
28 年度	25 名	1,481 件
29 年度	23 名	1,299 件

- ・継続したサービス提供を行った。

⑥短期入所事業

<利用者数推移>

	利用契約者	利用延人数
28 年度	61 名	907 名
29 年度	60 名	971 名

※超重心 6 名・準重心 6 名 ※18 歳未満 16 名・18 歳以上 28 名

- ・短期入所とメディカルショートを組み合わせ短期入所を利用して頂いた。

(2) 総合相談室

①計画相談事業

<相談件数>

	障害者	障害児	計
28 年度	740 件	689 件	1,429 件
29 年度	738 件	601 件	1,339 件

- ・児童の相談が増えている反面、ケース増によりお断りも増えてきている。

②佐賀県障害児等療育支援事業

＜相談・訪問件数＞

	外来相談	訪問相談	施設職員等支援	療育機関支援
28 年度	1,141 件	429 件	124 件	24 件
29 年度	2,369 件	556 件	162 件	2 件

- ・診断書のついていない「気になる子」の相談が増えている。
- ・見だけではなく、保護者支援も増加している。

4 事務部

(1) 事業種別に応じた適正な事務処理及び情報発信

①毎月の各種事業の実績および会計データの分析により、安定的な事務管理が今年度もできた。さらに、職員の加算取得の配置基準等も月ごとに検証。安定的な運営が行うことが出来た。

(2) 業務の効率化のさらなる徹底

- ①時間内の業務終了の目標は、ほぼ達成できた。
- ②業務改善は次年度にも少し課題を残した。

(3) 良好な職場環境の提供

- ①衛生委員会を中心に、メンタルヘルス室と連携しながら良好な環境づくりに努めた。
- ②全職員で各課対抗ドンパー棒大会を企画、職員間の親睦を図ることが出来た。

Ⅳ 地域社会との交流

1 実習生の受け入れ

＜平成 29 年度 受入状況＞

実習生延べ人数	1, 2 1 4 人
実習の種類	実 習 校
理学療法士	緑生館・西九州大学
作業療法士	西九州大学・福岡国際医療福祉学院
言語聴覚士	福岡国際医療福祉学院・麻生リハビリテーション大学校
歯科衛生士	九州福祉医療専門学校
保育士	西九州大学子ども学科・筑紫女学園大学・福岡こども短期大学 ・中村学園大学短期大学部・九州龍谷短期大学・九州大谷短期大学 香蘭女子短期大学
介護福祉士	神埼清明高校
社会福祉士	久留米大学
看護師	純真高等学校看護専攻科・緑生館・純真大学看護専攻科 精華女子高等学校・九州アカデミー看護専門学校・金立特別支援学校 聖マリア学院大学
調理師・栄養士	平岡調理専門学校
臨床心理士	福岡女学院大学大学院・西南学院大学大学院・西九州大学大学院
医学科学外学習	久留米大学医学部
職場体験実習	基山中学校
介護等体験	佐賀大学
見学実習	福岡こども短期大学・香蘭女子短期大学・筑紫女学院大学

自主実習	福岡こども短期大学・香蘭女子短期大学
------	--------------------

2 ボランティア

(1) ボランティア

＜ボランティア数と状況＞

ボランティア延べ総数 679 名（月平均 56 名）	
ボランティア内容	
生活場面	・ヘアメイク
行事	・ファミリーデー・わかくす杯ふうせんバレーボール・弥生が丘夏祭り ・療育園祭・クリスマス会
クラブ活動	・華道クラブ・茶道クラブ・木りんクラブ ・エンジョイ音楽・エンジョイお話クラブ ・カラオケクラブ・フラワーアレンジ・コールトリンズ
趣味・余暇	・朗読・散歩・話し相手・アニマルセラピー・マッサージ
その他	・裁縫・壁画制作・空調、配電の点検整備・車椅子清掃

(2) 啓発活動

＜啓発活動の状況＞

名 称	実施日	参加数	内 容
ボランティア勉強会	7 月 23 日（日）	30 名	「地域に寄り添うサロン活動～皆で楽しめるレクリエーション～」体験講座他
法人若楠 ボランティア懇親会	2 月 4 日（日）	62 名	ボランティア紹介 アトラクション（もちつき 他）

3 交流活動

(1) 地域行事への参加

- ・弥生が丘夏祭り ・若楠感謝祭 ・グリーンファーム山浦梅まつり
- ・弥生が丘街づくり推進センターイベント（弥生が丘交流フェスタ）

(2) 地域芸術スポーツ行事への参加

- ・コールトリンズ定期コンサートの参加（鳥栖市社会福祉会館）・野球観戦（ヤフオクドーム）
- ・人形劇鑑賞（鳥栖市文化会館） ・サッカー観戦（ベストアメニティスタジアム）
- ・ヴァイオリン・ピアノ・チェロ演奏会（鳥栖市文化事業協会アウトリーチ事業）

(3) 中原特別支援学校 交流行事への参加

- ・校外学習 ・体育祭参加 ・文化祭 ・芸術観賞会 ・入学式 ・卒業式 ・修学旅行

V 総務

1 職員の状況

<職員数（年度末）>

	医師 (常勤)	医師 (非常勤)	歯科医師 (常勤)	歯科医師 (非常勤)	薬剤師	診療放射線技師	歯科衛生士	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	臨床心理士
28年度	3	7	1	2	4	2	5	6	8	10	3
29年度	4	7	1	2	5	1	5	7	8	10	3
増減	1	0	0	0	1	-1	0	1	0	0	0

	看護師	准看護師	ケアワーカー	生活支援員	管理栄養士	調理師・調理員	事務員	環境整備員	ホームヘルパー	託児所職員	合計
28年度	44	18	27	45	2	13	12	7	4	10	233
29年度	47	21	23	47	2	14	12	7	3	11	240
増減	3	3	-4	2	0	1	0	0	-1	1	7

※臨時職員を含む。生活支援員には、介護福祉士・社会福祉士・保育士の資格保有者を含む。

2 職員研修

(1) 園内研修

研修名	テーマ	場所	期日	講師
園内研修	インシデント・アクシデント 報告の傾向と対策	若楠療育園	6/21	医療安全委員会
	福岡市市民防災センター視察	福岡市	11/29	防災センター職員
	感染症の症状と特徴 (MRSA・ESBL等) 感染対策の基礎知識	若楠療育園	11/29	感染予防委員会
	骨折について	若楠療育園	1/25	リハビリテーションスタッフ
新採用職員研修	OJT研修	若楠療育園	4月	園内職員

(2) 園内研究発表会

発表演題	発 表 者
外来作業療法での子どもと保護者への適切な支援を目指して ～自閉スペクトラム症の感覚調整と不適応行動の関連に着目して～	リハビリテーション課
1年間を振り返って～インシデント・アクシデント～	栄養課 高原 愛
社会的相互交渉の発達を促す ＝絵本や童謡からアプローチを試みる＝	地域支援課 太田晶紀子
行動に問題のある子どもの理解と対応	児童発達支援センター 相川結芽
日常ケアの充実を図るために	第2生活棟 轟木久子 小濱佐知子
腰痛予防体操の導入を試みて	第1生活棟 徳富 元 則松祐太

3 防犯防災管理

- (1) 毎月1回、職員の防災意識の向上、役割分担体制の把握、災害時の行動力を培うために、通報・初期消火・避難誘導の防災訓練、災害時の朝食提供訓練も同時に行った。
- (2) 9月に、夜間非常時の職員の行動、緊急連絡網の稼働等訓練のために、今町・弥生が丘・柚比地区の方の参加協力のもと夜間防災訓練を行った。
- (3) 消防設備定期検査(年2回)、自主点検(随時)を実施。
- (4) 有事を想定しての様々な災害シミュレーション訓練の実施。さらに福岡市市民防災センターの体験視察等の研修も行った。
- (5) 監視カメラの増設、園内の施錠時間の限定による不審者対策の実施。

4 施設整備及び環境の整備状況

- ・Net community System αNXⅡ新設工事一式 ・自動錠剤分割分包機
- ・ヴォクシーX(利用者送迎車) ・わかくす託児所改修工事
- ・児童発達支援センター玄関前駐車場増設工事 ・歯科診療台
- ・第2生活棟職員休憩室工事 ・昇降式介護浴槽+専用ストレッチャー

5 寄付

ご 芳 名	
堀口 美由紀 様	J A佐賀県女性組織協議会 様
山口 一夫 様	九州納豆組合 有限会社 天野食品 様
ポアソン 様	瀧光徳寺 様

本山 法夫 様	株式会社 エクシス 様
若楠保護者の会 様	

若楠児童発達支援センター

I 運営概要

1 運営方針（実施結果）

若楠児童発達支援センターは、社会福祉法人若楠の基本理念のもと、身近な地域の障がい児支援の拠点施設として、障がいのあるなしに拘わらず様々な子ども達のニーズに合わせた支援に努めた。そのために利用者はもちろんのこと、母親・家族への支援体制の充実を図り、様々な角度から子育て支援事業を行い、子どもの健やかな育ちへの支援をセンターの担うべき役割として邁進した。

（1）地域の障がい児や家族への支援

児童発達支援センター事業を通して、年齢・発達・特性を考慮し、面談会やお迎えの際のご家族との情報交換を密に行うことで、利用児一人ひとりにあった支援に努めた。

（2）地域の障がい児を預かる施設への支援とネットワーク強化の推進

障害児療育等支援事業や保育所等訪問事業等を通して、幼保育園・学校・施設等の要請に応じ受入れ、出張対応を行った。また、県内の療育機関や自立支援協議会等のネットワーク会議にも積極的に参加し、連携の強化に努めた。

（3）障がい児・健常児の共生の場として（育児不安を含めた）の拠点施設の役割を果たす

地域子育て拠点支援事業「どんぐりセンター若楠」は3年目に入り、内容の充実と利用者に寄り添った支援に努めたことにより、利用者も増え、安定的な運営ができた。

（4）地域の発達グレーゾーン児等の支援と家族・関連機関への具体的な支援の実施

どんぐりセンター若楠、障害児療育等支援、若楠児童発達支援センターの各々の事業機能を効果的に活かし、療育や家族等の相談等を積極的に受け入れた。

（5）メンタルヘルス室の有効活用により、職員の安定的な勤務支援に繋がった。

II 利用者の状況（登録者）

1 年齢

<どんぐりセンター若楠>

年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	合計
男	39	33	32	22	17	143
女	31	16	22	16	11	96
合計	70	49	54	38	28	239

<児童発達支援>

年齢	3歳未満	3歳	4歳	5歳	合計
男	6	14	14	12	46
女	5	2	3	2	12
合計	11	16	17	14	58

<放課後等デイサービス>

年齢	1年生	2年生	3年生	合計
男	8	10	8	26
女	3	2	3	8
合計	11	12	11	34

<保育所等訪問支援>

年齢	保育園	幼稚園	1～3年	4～6年	合計
男	2	1	2	2	7
女	1	0	0	0	1
合計	3	1	2	2	8

Ⅲ 事業の実施状況

1 医療部

(1) 医療課（メンタルヘルス室）

①平成29年度 月別職員メンタル相談数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	5	4	3	13	4	22	9	11	5	6	3	7	92
新規利用者数	1	1	1	11	2	15	1	4	1	1	1	1	40

月平均利用者数 8.5人 月平均新規利用者数 3.3人

②メンタルヘルス講習会

・メンタルヘルス講習会 ・法人若楠新人研修4回 ・外部団体委託1回

(2) どんぐりセンター若楠

- ・利用される親子が増加、特に、0～1歳児が多く、毎日来られる親子もいる。
- ・季節行事、ころころ子育て講座、タッチケア教室、赤ちゃん広場等の参加も多く、9月の講座は弥生が丘まちづくり推進センターを利用した。
- ・クローバーの会の参加者も増加、特に発達に不安を持つ母親が多かった。総合相談室からの講話も好評だった。

<月別利用状況>（延べ人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	370	314	331	378	485	479	531	534	511	460	543	659	5595
1日平均	18	15	14	20	22	24	25	25	24	24	27	30	23

2 地域支援部

(1) 若楠児童発達支援センター

- ・就学前の児童の療育希望は増加傾向にある。
- ・感染症の流行期には、利用児の罹患の他、利用児は健康でも家族罹患の為の欠席があり、利用が減少した。
- ・職員の専門技術を高める為、事例検討や学習会などを実施した。
- ・就学に関する学習、相談会、口腔衛生の勉強会を実施した。

①児童発達支援

- ・3歳までの幼児を対象にした親子療育クラスを開始し、療育初期における保護者への支援を充実させた。
- ・集団クラスで受けることが出来なかった幼児に対して、短時間の小集団の療育クラスを設定し、受入れを行った。
- ・療育参観を実施し、支援の説明や教材の紹介を行い、療育に参加して頂いた。

<利用者数推移>

	利用契約者	実施日数	利用者延べ人数	1日平均利用者数
28年度	37	238	2,423	10.2
29年度	58	242	3,874	16.0

②放課後等デイサービス

- ・土曜日の療育を中止することにより、平日の支援の充実を図った。

<利用者数推移>

	利用契約者	実施日数	利用者延べ人数	1日平均利用者数
28年度	43	277	3,193	11.5
29年度	34	240	2,615	10.9

③保育所等訪問支援

- ・保育所等訪問支援は、職員配置の関係で、支援制限を行わざるを得なかったが、不
定期的な相談依頼には療育等支援事業で対応した。

<利用者数推移>

	利用契約者	実施日数	利用者延べ人数	1日平均利用者数
28年度	22	106	147	1.4
29年度	8	40	49	1.2

若木園

I 運営概要

1 運営方針

法人の基本理念を踏まえ、地域に役立つ障害者施設を目指す。利用者の意向・人権を尊重するとともに、社会的自立と社会参加ができるよう真摯に励まし支援する。また、医療・介護ケアを必要とする入園者、重度行動障害や自閉症の入園者へのきめ細やかな配慮を行い、安定した生活ができるよう支援する。高度化する在宅ニーズに応えるため、相談支援をはじめ通所サービス事業を展開し、利用者の福祉向上を目指す。

2 活動状況

平成29年度は、築20年の若木園の生活環境に対し、職場遵守も含め、必要な営繕に取り組み、入所施設としての暮らしやすい住環境と働きやすい職場環境の両面に考慮し、快適で安全な施設の維持管理に努めた。また、医療では、他科受診の評価をはじめ、協力医療機関の確保と看護業務と支援員業務の新たな連携体制を確立した。

人材育成策として、各棟の事例発表を通し、利用者に対する支援の在り方研修を行いながら、衛生委員会から職員に対する安全配慮について、知識と意識の啓発に努めた。

II 利用者の状況

平成29年3月31日現在

1 年齢別・性別

(名)

年齢 性別	20歳未満	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65歳以上	合計	平均年齢
男	0	3	19	10	5	1	5	43	43.7
女	0	4	8	8	3	3	2	28	44.9
合計	0	7	27	18	8	4	7	71	44.0

※最少年齢 22 歳 ※最高年齢 76 歳

2 障害支援区分

(名)

区分 性別	3	4	5	6	合計	平均区分
男性	0	2	13	28	43	5.6
女性	0	0	7	21	28	5.7
合計	0	2	20	49	71	5.7

III 事業の実施状況

1 入所支援・生活介護

- (1) 高齢化にともなう運動機能の課題に対し、専門機関から評価を受け、利用者の生活支援の見直しを行った。
- (2) 毎日が楽しい・生きがい・やりがいを感じられる支援を目指し、個別支援計画作成に関する研修会と、利用者のストレングスに着目した計画の実施。
- (3) 体調の変化に対し、迅速な医療・家族・他施設との連携に着目した面談の継続。

- (4) ご家族に対し、利用者と家族が望む「生活の場」の意向を尊重し、他施設との連携についての説明の実施。

2 通所生活介護

- (1) 重度化・複雑化するニーズに対し、丁寧な対応の統一を図った。
- (2) 他事業所との情報共有と将来の生活像を見据えた地域連携のため、担当者会議やケース会議へ出席した。
- (3) 利用者の特性を理解し、豊かな生活を目的とした支援に取り組み、事例研究発表等で報告した。

3 放課後等デイサービス

- (1) 年々高まるニーズに対し療育に特化した事業展開を継続できている。
- (2) 障害種別ごとの研修へ参加し、専門知識・技術の向上を図った。
- (3) 他事業所、学校と連携し、会議を設けながら総合的な児童への成長発達支援に努めた。

IV 保健衛生

1 健康管理

- (1) 疾病の早期発見及び健康保持増進のため、年2回の健康診断を実施。なお、異常のある方へは、適宜二次検査・治療を実施。
- (2) 各分野の職員との連携にて体調異常の早期発見・早期治療・早期回復に努めた。
- (3) 嘱託医や外来看護師の協力を得て、症状に応じた医療対応を行い、健康管理に努めた。
- (4) 地域の医療機関との連携強化を図り、緊急時や専門医療の受診対応を図った。
- (5) 専門医療について、定期的な専門医の診察を受けながら嘱託医からの処方へ移行した。
- (6) 法人内施設（青葉園）との情報交換を行い、医療・看護体制を見直した。
- (7) 流行期に限らず、日々生活環境の清掃・手指消毒などを実施し、園内感染の防止に努めた。感染予防委員会（定期・臨時）を開催し、適宜予防対策の検討をおこなった。
- (8) 入園者（保護者承諾）、職員は感染や重症化防止のため、インフルエンザ予防接種を実施。施設内感染拡大防止のため、リレンザ吸入や出勤マニュアルを作成して対応した。
- (9) 食事・運動療法については体重管理を行い、嘱託医の指示のもとで管理栄養士、支援員との連携で適切な支援を行った。
- (10) 各医療機関への通院者、入院者に対し、担当医師との情報交換を密にし、必要な処置を行い治療に努めた。
- (11) 保健衛生日誌の記録活用により、医務の情報共有と支援の連携を図った。
- (12) 保護者への健康管理情報の提供や健康相談を適宜実施することで、信頼関係を築くことに努めた。

2 健康診断等の実施状況（若楠療育園）

実施期間	内 容	実施者数
H29.5.15～ 5.17	健康診断(血液・尿・胸写・心電図・他計測等)	71 名
H29.10.24	健康診断(聴打診・血圧・体重・一部採血)	71 名

3 入園者の疾病状況（若楠療育園）（延べ人数：名）

科\月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
精神科	62	62	71	73	71	71	71	71	71	71	71	72	837
内 科	21	21	33	30	20	13	19	23	12	4	37	18	269
歯 科	28	24	25	10	12	11	26	2	34	29	26	28	250
皮膚科	9	6	9	9	5	9	9			12	9	7	54
整形外科	2	2	1							1			5
リハビリ		1	5	1			1	1					11
合計	122	116	144	114	108	117	97	117	119	134	134	134	1426

4 入園者の協力医療機関受診状況（延べ人数：名）

医療機関名	受診状況	医療機関名	受診状況
いとうクリニック	6	駒井皮膚科	2
岩岡整形外科	2	権藤皮膚科	7
おか眼科	15	せとじまクリニック	3
鹿毛病院	30	名取医院	4
久留米大学病院	5	光風会病院	4
くるめ病院	0	原三信病院	5
黒岩耳鼻科	0	前原耳鼻科	20
前山内科医院	22	門司歯科	13
山田レディースクリニック	8	嶋田病院	1
中島クリニック	1	荒木眼科	1
聖マリア病院	7	今村病院	2

5 入園者の入退院状況

病院名	疾患名	期間
鹿毛病院	腎盂腎炎	平成 29 年 8 月 8 日～29 年 8 月 29 日
聖マリア病院	シャント機能の悪化	平成 29 年 9 月 29 日～29 年 10 月 9 日
聖マリア病院	シャント機能の悪化	平成 29 年 10 月 11 日～29 年 11 月 1

6 保健の実施状況

実施事項	回数	対象	実施事項	回数	対象
検温	1 日 2 回	全員	皮膚科受診	週 1 回	異常者
体重測定	月 1 回	全員	歯科受診	週 3 回	全員
	異常者随時		歯科受診	随時受診	異常者
血圧測定	年 6 回	全員	整形外科受診	週 1 回	異常者
	異常者随時		療育園以外の 医療機関受診	随時受診	異常者
身長測定	年 1 回	全員			

7 感染症罹患状況報告

感染症	期間	罹患者数
インフルエンザA	平成 29 年 1 月 12 日～3 月 14 日	計 5 名

V 食事班

1 実施状況

食事については、利用者個々のアセスメント表に基づき、栄養バランスのとれた献立を作成。多くの食材を使用し、見た目にも鮮やかに工夫した調理を行った。また、適切な時間に提供することができた。

栄養ケアマネジメントにより、看護師・支援員との連携を密にして、一人ひとりの栄養状態の把握はもとより、病態に合わせた食事や運動の取入を実施することができた。

2 食事利用状況

月 食	4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月		10 月	
	入園者	通所 短期	入園者	通所 短期	入園者	通所 短期	入園者	通所 短期	入園者	通所 短期	入園者	通所 短期	入園者	通所 短期
朝食	1,978	41	1,996	42	1,969	36	2,025	35	1,964	42	1,987	42	2,007	43
昼食	1,955	416	1,930	433	1,922	438	1,994	434	1,925	474	1,920	409	2,008	432
夕食	1,953	43	1,978	49	1,934	39	2,006	36	1,966	45	2,022	47	2,003	48
小計	5,886	500	5,904	524	5,825	513	6,025	505	5,855	561	1,950	498	6,018	523
合計	6,386		6,428		6,338		6,530		6,416		2,448		6,541	

月 食	11 月		12 月		1 月		2 月		3 月		合 計	
	入園者	通所 短期	入園者	通所 短期	入園者	通所 短期	入園者	通所 短期	入園者	通所 短期	入園者	通所 短期入所
朝食	1,969	40	2,025	39	1,897	28	1,836	33	2,033	31	23,686	491
昼食	1,935	396	1,956	369	1,890	341	1,809	382	2,012	398	23,256	5,291
夕食	1,949	44	1,964	42	1,918	30	1,882	33	2,006	33	23,581	531
小計	5,853	480	5,945	450	5,705	399	5,527	448	6,051	462	70,523	6,313
合計	6,333		6,395		6,104		2,270		6,513		76,836	

常食入園者	52 名
きざみ食入園者	6 名
粗刻み食入園者	11 名
腎臓病食（減塩食）	1 名
腎臓病食（減塩・低蛋白食）	1 名
合計	71 名

VI 地域支援

1 生活介護事業利用実績（通所）

（1）年齢

（名）

年齢 性別	20歳未満	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65歳以上	合計	平均年齢
男	2	11	7	2	0	0	0	22	29.2
女	2	6	2	0	1	1	0	12	30.0
合計	4	17	9	2	1	1	0	34	29.9

※最少年齢 18 歳 ※最高年齢 60 歳

（2）障害支援区分

区分 性別	3	4	5	6	合計	平均
男	0	3	8	11	22	5.4
女	0	3	4	6	13	5.2

（3）利用者数

（延べ人数：名）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	402	408	395	395	411	375	373	380	391	358	346	387

合計 4,621 名

前年度比 -10

2 放課後デイサービス利用実績

（1）年齢

（名）

年齢 性別	小学生	中学生	高校生	合計	平均年齢
男	22	4	3	29	11.4
女	4	4	1	9	13.0
合計	26	8	4	38	11.9

（2）利用者数（延べ人数：名）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	103	124	156	124	110	139	115	113	127	116	121	135

合計 1,483 名

前年度比 +30

3 短期入所事業実績

（1）年齢

就学前	小学生	中学生	高校生	18～20 歳
男 0	1	1	4	4
女 0	0	2	3	2
21～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50 歳以上	合計
男 13	6	2	0	31
女 6	3	0	0	16

(2) 障害支援区分

障害支援区分	1	2	3	4	5	6	合計
男	0	0	1	7	5	12	25
女	0	0	0	3	1	7	11
男(児)	0	2	4				6
女(児)	0	3	2				5

(3) 利用者数

(延べ人数：名)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用	75	104	92	94	87	83	69	89	85	79	70	69	996

前年度比 -5

4 日中一時支援事業実績

(1) 年齢

就学前	小学生	中学生	高校生	18～20歳
男 0	5	1	1	2
女 0	0	1	0	1
21～29歳	30～39歳	40～49歳	50歳以上	合計
男 5	1	0	0	15
女 5	1	0	0	8

(3) 利用者数

(延べ人数：名)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用	28	30	31	29	31	28	25	25	20	23	13	15	298

前年度比 -279

※適切かつ丁寧な対応を要する重度障害児・者の利用受け入れ数増加に伴い、総合的な利用数は減少となった。

Ⅶ 地域社会と交流

1 実習生

(名)

実習の種類	実習校	期間	人数
高等部現場実習	小郡特別支援学校	平成29年11月13日～11月16日	1名
	中原特別支援学校	平成29年11月20日	1名
中学部現場実習	中原特別支援学校	平成29年12月6日	1名
	中原特別支援学校	平成29年12月5日	1名
看護実習	精華女子高等学校	平成29年7月31日	15名
介護福祉士	西九州大短期大学	平成29年8月7日～8月11日	2名
		平成29年8月21日～8月25日	1名
保育実習	香蘭女子短期大学	平成29年10月17日	15名

2 ボランティア

氏名	内容
牟田淑子 様	茶道教室
麓ダンスクラブ 様	リズムダンス
山浦消防団 様	消防訓練・行事手伝い
稲員千鶴子 様	詩吟
平田 彰 様	ドッグセラピー
コールトリンス 様	コーラス
美藤会 様	演芸

3 交流活動

- ・若木祭
- ・山浦地区敬老会
- ・麓地区夏祭り
- ・地域音楽教室
- ・鳥栖市障害者理解促進事業
- ・麓地区文化祭
- ・佐賀県スポーツ推進委員研究大会
- ・弥生が丘文化祭

VIII 総務

1 職員状況

(名)

	施設長	児童発達支援責任者 サービス管理責任者	生活支援員	保育士	児童指導員	看護師	管理栄養士	調理師（員）	事務員	環境整備員	その他	合計
28年度	1	4	49	2	1	3	1	11	3	2	2	79
29年度	1	4	50	2	1	3	1	10	3	2	2	79

※契約・短時間職員を含む。

2 職員研修

(1) 内部研修

月	研修等名	内容	開催地	参加者
4	法人職員研修	新採研修	法人本部	中村まり、佐々木、島添
	施設見学	N P Oわかば	鳥栖市	平石、三島
5	法人職員研修	1 年経過者研修	法人本部	森、亀山、宮村
	園内研修	サービス管理責任者勉強会	若木園	サービス管理責任者
	施設見学	ゆうゆうセンター	福岡市	陣ノ内、中村まり
6	法人職員研修	1 年経過者研修	法人本部	末永、林、橋口、大石
	園内研修	チームワーク研修	法人本部	支援員
6	施設見学	ひかり園（放デイ）	鳥栖市	支援員
7	法人職員研修	リーダー研修	法人本部	田中み、平石、奥村、中山、早田、本村

11	法人職員研修	中間業績報告会	マリーゴールド（鳥栖市）	藤田、中村り、別府
	園内研修	チームワーク研修	法人本部	支援員
12	園内研修	地域支援課事例研究発表会	若木園	地域支援課支援員
1	法人職員研修	課長等研修	マリーゴールド（鳥栖市）	中村り、別府
3	法人職員研修	事業計画報告会	マリーゴールド（鳥栖市）	藤田、別府
	園内研修	事例研究発表会	若木園	支援員

（２）外部研修

月	研 修 名	会 場	参加者
4	佐賀県知的障害者福祉協会総会	佐賀市	中村り、水谷
	協和商工（株）病院、施設向け展示会	佐賀市	河上、宮村、林
5	食品産業創造展	福岡市	河上
	自閉スペクトラム症への認知発達治療後援会	兵庫県	村上
	母子療育指導専門員育成研修	佐賀市	堤、村上
6	第一回栄養士会研修会	佐賀市	河上
	自閉症の特性と支援	佐賀市	山鹿、末永
	母子療育指導専門員育成研修	佐賀市	堤、村上
7	全国知的障害関係施設長等会議	東京都	藤田
	社会福祉施設経営実務、開設セミナー	大阪府	藤田
	佐賀県相談支援従事者初任者研修	佐賀市	中村り、松元、本村、村上、松本
	障害児支援コース 3 障害児保育専門研修	佐賀市	亀山
	療育技術支援コース TEACCH プログラム研修	佐賀市	本村
8	母子療育指導専門員育成研修	佐賀市	堤、村上
	佐賀県相談支援従事者初任者研修	佐賀市	松元
	第二回栄養士会研修会	佐賀市	河上
	療育支援技術コース 感覚統合療法研修	佐賀市	陣ノ内、中村まり
	強度行動障害支援者養成基礎、実践研修	福岡市	村上、松本
	障がいのある人の表現活動を考えるセミナー	佐賀市	中村まり
	強度行動障害支援者養成研修（基礎）	佐賀市	陣ノ内、佐々木、田中
	九州地区手をつなぐ育成会佐賀県大会	佐賀市	島崎
8	倫理人権部会研修会	佐賀市	松本
9	特定給食施設担当者研修会	鳥栖市	河上
9	支援力アップコース 遊びを通して育む力研修	佐賀市	松本
	療育支援センター研修事業検討会	佐賀市	亀山
	応用行動分析（ABA）連続講座	佐賀市	奥村、安部
	太鼓祭 2017 南日本大会	福岡市	島崎、佐々木、山田

	新入社員フォローアップ研修	佐賀市	中村まり
	障害児保育専門研修（実践）	佐賀市	亀山
	九州地区知的障害関係施設長等研究大会	大分市	藤田
	食品衛生責任者実務講習会	鳥栖市	松本、河上
	秋の総合展示会	佐賀市	河上
10	応用行動分析（ＡＢＡ）連続講座	佐賀市	奥村、安部
	療育支援センター研修事業検討会	佐賀市	亀山
	レクリエーション部会研修会	佐賀市	橋口
	安全運転管理者等講習	鳥栖市	岩永
	全国児童発達支援施設運営協議会	北海道	村上
	防災センター内講習会	福岡市	野下た、古賀
11	応用行動分析（ＡＢＡ）連続講座	佐賀市	奥村、安部
	強度行動障害支援者養成研修（基礎）	佐賀市	古賀、高木、宮ノ前
	佐賀県障害者虐待防止・権利擁護研修	佐賀市	堤
	支援力アップコース７ソーシャルスキル教育研修	佐賀市	亀山
	母子療育指導専門員育成研修（実技）	鳥栖市	村上
	母子療育指導専門員育成研修（実技）	佐賀市	村上
12	福祉サービス苦情解決研修会	佐賀市	中村り
	日中活動支援部会全国大会	東京都	野下た
	応用行動分析（ＡＢＡ）連続講座	佐賀市	奥村、安部
	施設長会	佐賀市	藤田
	佐賀県サービス管理責任者等研修（共通）	佐賀市	田中み、村上、松本
	佐賀県サービス管理責任者等研修（介護）	佐賀市	田中み、村上
	佐賀県サービス管理責任者等研修（児童）	佐賀市	松本
1	応用行動分析（ＡＢＡ）連続講座	佐賀市	奥村、安部
	新年情報交換会	佐賀市	別府、中山
	鳥取フォーラム	米子市	藤田
	母子療育指導専門員育成研修会	佐賀市	堤、村上
	強度行動障害支援者養成研修（基礎）	佐賀市	別府、立石、内山
2	キックオフ・シンポジウム（発達障害児に必要な寄り添う支援とは何か）	みやき町	亀山
2	介護職員のためのメンタルヘルス研修	佐賀市	中村り、宮原
	倫理人権部会研修会	佐賀市	別府

3 視察・見学等の受入

	団 体 名
6 月	それいゆ
7 月	特定非営利活動法人しょうがい者と共に生きる「みんなのかえるランド」

8 月	中原特別支援学校小学部
1 月	長崎知的障害者福祉協会

4 防災管理

毎月 1 回の防災訓練を様々な想定で防災訓練を実施している。

今年度は、初期消火に力を入れての取り組みを行った、一斉メールでの緊急連絡方法も確立が出来ており地域・地元消防団との合同の防災訓練も実施する。

防火管理委員会では（年 3 回）では、火災対策の他に自然災害等のリスクに備え意見交換や園内での対策方法の協議を行っている。

30 年度は、様々な自然災害等にも対応できる様に訓練を行い職員の災害に対する意識向上・啓発活動にも重点を置き取り組んでいきたい。

5 施設整備及び環境の整備状況

（1）施設整備

- ・本館女子棟浴槽シート張替え
- ・東館女子棟浴槽防水補修工事
- ・本館男女棟職員室扉取り換え
- ・本館女子棟入口扉取り換え
- ・本館男子棟ホールトイレ床シート張替え
- ・東館女子棟浴室、談話スペース畳替え
- ・本館事務室、駐車場外灯 L E D 取り換え

（2）備品等整備

- ・冷蔵庫、冷凍庫
- ・東館女子棟 A E D 増設
- ・車両 ダイハツ タント（車いす用入替）
- ・車両 ダイハツ ムーブ（入替）

6 寄付

ご 芳 名
若木園保護者会 様
佐賀県共同募金会 様

青葉園

I 運営概要

若楠の基本理念のもと、青葉園、青葉ホームともに利用者、家族、地域から信頼される事業活動に取り組んだ。

青葉園ではユニットケアを実施し、家庭的な雰囲気のもときめ細やかな支援を心がけた。また、職種間が連携を図ることで、利用者の生活支援、医療・介護ケアの充実に努めた。

青葉ホームは利用者が地域で安心、安全な生活を送っていただけるように、生活支援、事業所及び相談支援事業所との連携、交通事故、防犯に対する個別支援に取り組んだ。

II 利用者の状況（入所）

1 年齢 平成 30 年 3 月 31 日現在（名）

年齢	20未満	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65以上	合計	平均年齢
男	0	2	12	23	13	16	16	82	53 歳
女	0	0	7	8	9	16	10	50	56 歳

※施設入所：日中グリーンファーム利用者 8 名含む。

2 障害支援区分 （名）

区分	1	2	3	4	5	6	計
男	0	0	6	16	32	28	82
女	0	0	3	10	15	22	50

※施設入所：日中グリーンファーム利用者 8 名含む。

III 事業の実施状況

青葉園

1 生産型

- | | |
|-------------|---|
| (1) クリーニング班 | ① 法人内事業所からの衣類、タオル等の洗濯
② 小中学校の寝具類やカーテンの洗濯
③ 外部事業所より制服の洗濯 |
| (2) 業務受託班 | ① 若楠療育園の清掃、衣類の仕分け等
② 若楠療育園利用者の車椅子清掃 |
| (3) 陶磁器 | ① 陶芸教室・絵付け教室の開催 |
| (4) ランドリー | ① 青葉園利用者のタオル、シーツの洗濯 |
| (5) くすの樹 | ① 利用者のスキルアップ(接客等)、授産品の販売、地域交流や法人施設の情報発信
② 月 1 回のイベントを実施 |
| (6) 軽作業 | ① 袋に持ち手をつける内職、アルミ缶リサイクル |

- 2 活動型
- ①散歩、体操、ドライブ、誕生会、目的別外出等
 - ②アートクラブ、ダンスクラブ
 - ③個別活動
 - ④ 1 日旅行

- 3 全体行事
- 夏祭り（7 月）、若楠感謝祭（11 月）、クリスマス会（12 月）

4 青葉ホーム

- (1) 利用者の 1 日旅行

- (2) 弥生が丘東区の美化活動（年２回）、イベントへの参加
- (3) 青葉ホーム山浦は班長会へ参加、地区の行事に参加
- (4) 環境整備として年２回、各ホームの除草作業等を行う
- (5) ボランティアによるリラックス体操（月２回）

5 地域交流

- (1) 「第 23 回 若楠感謝祭」を開催
- (2) 弥生が丘夏祭りへの参加
- (3) 弥生が丘運動会への参加
- (4) 東区除草作業への参加（春・秋、年２回）

Ⅳ 生産型活動における生産品等、販売実績

1 販売実績

(円)

月 班	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
クリーニング	103,430	2,472,348	2,622,947	2,506,766	2,592,613	2,740,686	2,839,250
業務受託	3,000	763,958	798,694	689,566	776,936	709,374	669,406
ランドリー	0	228,703	242,819	244,256	233,219	240,295	196,500
陶磁器・軽作業	0	31,390	1,800	95,600	10,820	84,290	151,240
くすの樹	322,344	318,995	367,231	275,255	345,501	305,936	292,320
計	428,774	3,815,394	4,033,491	3,811,443	3,959,089	4,080,581	4,148,716
月 班	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	未収金	合計
クリーニング	2,523,457	2,504,671	2,541,462	2,354,866	2,212,813	2,636,885	30,652,194
業務受託	568,989	359,974	322,500	314,115	558,139	533,771	7,068,422
ランドリー	227,845	272,044	222,915	237,090	218,635	225,293	2,789,614
陶磁器・軽作業	107,800	33,190	2,150	9,560	24,180	7,970	559,990
くすの樹	433,928	388,185	265,498	247,516	314,387	0	3,877,096
計	3,862,019	3,558,064	3,354,525	3,163,147	3,328,154	3,403,919	44,947,316

2 就労工賃の支給

(円)

月 別	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
支給額	392,129	388,020	790,959	389,203	376,965	366,687	374,576
平均額(生産型)	12,060	12,204	24,714	12,063	11,721	11,353	11,888
平均額(活動型)	2,217	1,950	3,534	2,117	2,161	2,466	2,259
最高額	27,615	27,510	54,215	27,405	25,520	25,520	26,535
最低額	500	500	167	500	500	500	220
月 別	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計	
支給額	715,043	373,831	341,381	256,890	367,613	5,133,297	
平均額(生産型)	22,591	12,313	10,878	7,726	11,597	13,443	
平均額(活動型)	4,256	1,918	2,019	1,932	2,203	2,442	

最高額	49,832	26,680	25,448	18,125	26,680	
最低額	334	500	500	500	500	

V 保健衛生班

1 健康管理

- (1) 健康保持のため、年2回の健康診断を実施し、健康診断の結果は家族に報告するとともに、必要な検査については家族と相談し対応した。
- (2) 慢性疾患、痙攣のある利用者に対し嘱託医と連携を密にし、定期受診、状態観察に努め報告と適切な対応、処置をおこなった。
- (3) 医療機関への通院者、入院者に対し担当医師と情報交換を密にし、必要な処置を行い治療に努めた。定期受診者、異常者受診時の投薬、処置を医務室にて実施。
- (4) インフルエンザ予防対策は保護者・利用者・職員の説明と了解を得て、予防接種を実施。
- (5) 感染予防対策として健康状態の把握と共に、清潔、換気に留意、作業棟、就寝時のうがい、手指の清潔保持のため、手洗いを励行、職員がアルコール消毒液を携帯し使用した。ノロウイルス・インフルエンザ等感染対策マニュアルの作成を行い、職員への情報提供に努めた。感染時には隔離を行う等、初期の対応を迅速におこなった。
- (6) 高齢者、虚弱者の疾病の予防に努めると共に、成人病、肥満の予防及び対策として栄養課と協力体制をはかり、食事の工夫に努めた。

2 健康診断、予防接種の実施状況

実施月	内容
4月、5月、6月	利用者健康診断
10月、11月	利用者健康診断
10月、11月	インフルエンザ予防接種

3 利用者の入院状況

医療機関名	期間
やよいがおか鹿毛病院	平成29年 4月 14日 ～ 平成29年 6月 19日
	平成29年 4月 28日 ～ 平成29年 5月 2日
	平成29年 8月 26日 ～ 平成29年 8月 26日
	平成29年 10月 2日 ～ 平成29年 10月 3日
	平成30年 3月 15日 ～ 平成30年 3月 29日
	平成30年 3月 19日 ～ 平成30年 3月 23日
	平成30年 3月 31日 ～ 平成30年 4月 13日
聖マリア病院	平成29年 9月 10日 ～ 平成29年 10月 23日
	平成30年 2月 16日 ～ 平成30年 3月 6日
今村病院	平成29年 5月 9日 ～ 平成29年 11月 30日

4 利用者の受診状況 (件)

医療機関	受診数	医療機関	受診数
若楠療育園	2,601	肥前精神医療センター	24
若楠歯科	766	いぬお病院	12
やよいがおか鹿毛病院	178	大島病院	52
聖マリア病院	38	まえはら耳鼻科	7
ごんどう皮膚科	48	前山内科	2
岡眼科	233	くるめ病院	1
中州医院	24	東佐賀病院	1
久留米大学病院	4	荒木眼科	1
		合 計	3,992

VI 栄養課

1 給食状況

- (1) 個人の身体状況や喫食状況を考慮し、グリーンファーム山浦やどんぐり村の新鮮な野菜等を積極的に使用した献立を作成し、かつ安心・安全な食事提供に努めた。
- (2) 温かい物は温かく、冷たい物は冷たくを心がけ、直前配膳等おこなった。
- (3) 体調不良や咀嚼不良の時は別メニュー、別形態にて個別対応もおこなった。
- (4) 季節毎の行事食を取り入れ、利用者の方々に楽しみにしていただいた。
- (5) 利用者の栄養ケア計画を作成、生活支援員・看護師と連携をおこなった。

2 食事利用状況 (食)

月	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月	
区分	入園	通所	入園	通所	入園	通所	入園	通所	入園	通所	入園	通所	入園	通所
朝食	3,917	30	3,978	25	3,880	30	3,958	31	3,823	37	3,815	30	3,892	31
昼食	4,402	538	4,404	568	3,718	383	3,838	352	3,644	355	3,633	378	3,694	380
夕食	3,924	30	3,990	25	3,859	30	3,992	31	3,821	37	3,792	30	3,923	31
小計	12,243	598	12,372	618	11,457	443	11,788	414	11,288	429	11,240	438	11,509	442
合計	12,841		12,990		11,900		12,202		11,717		11,678		11,951	
月	11月		12月		1月		2月		3月		合計			
区分	入園	通所	入園	通所	入園	通所	入園	通所	入園	通所	入園		通所	
朝食	3,828	31	3,880	27	3,768	28	3,580	28	3,891	35	46,210		363	
昼食	3,753	358	3,653	354	3,640	336	3,432	287	3,734	567	45,545		4,856	
夕食	3,839	31	3,815	26	3,818	29	3,551	28	3,890	35	46,214		363	
小計	11,420	420	11,348	407	11,226	393	10,563	343	11,515	637	137,969		5,582	
合計	11,840		11,755		11,619		10,906		12,152		143,551			

Ⅶ 総務課

1 職員状況

平成 30 年 3 月 31 日現在（名）

	園長	副園長	サービス管理責任者	事務員	生活支援員	看護師	管理栄養士	調理師等	世話人	夜勤専従（ホーム）	医師（嘱託）	合計
28 年度	1	1	6 (内 GH2)	6 (1)	75 (14)	3	2 (内 1 名 兼務)	13 (5)	11	15	1	134 (20)
29 年度	1	1	6 (内 GH2)	8 (1)	79 (21)	3	2 (内 1 名 兼務)	11 (4)	12	17	1	141 (26)
増 減	0	0	0	2	4 (7)	0	0	-2 (-1)	1	2	0	7 (6)

※括弧内の数字は短時間勤務職員

2 職員研修

月	研 修 会 等 名 称	開催地	参 加 者
4	法人新採研修	若楠療育園	新採職員
5	若楠職員研修会（1 年経過者）1 班	若楠療育園	7 名
	福祉従事者研修	佐賀市	山本
6	若楠職員研修会（1 年経過者）2・3 班	若楠療育園	12 名
	若楠職員研修会（1 年経過者）4 班	青葉園	5 名
7	佐賀県相談支援従事者初任者研修	佐賀市	牧・長野・遠藤
	若楠職員研修会（リーダー等）	若楠療育園	7 名
	若楠職員研修会（課長等）	若楠療育園	長尾・片山・天本・新貝・執行
8	佐賀県強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）	佐賀市	三池・坂井・松田
	倫理人権部会研修会	佐賀市	永尾・岡本
	九州地区手をつなぐ育成会佐賀県大会	佐賀市	城本
	販売促進部研修会	佐賀市	真島
9	特定給食施設担当者研修会	鳥栖市	中島・徳永
	佐賀県強度行動障害支援者養成研修（実践研修）	佐賀市	三池・坂井・松田
	応用行動分析連続講座①	佐賀市	真崎・福田
	全国社会福祉法人経営者大会	四日市	前田
10	精神疾患に関する研修会	佐賀市	永尾・高島
	応用行動分析連続講座②	佐賀市	真崎・福田
	労務リスクマネジメントセミナー	福岡市	新貝
	九州地区知的障害関係施設長研究大会	大分市	前田
11	防災センター内講習会	福岡市	長尾・大鶴
	施設間相互実習	佐賀市	姉川・済藤
	応用行動分析連続講座③	佐賀市	真崎・福田
12	佐賀県サービス管理責任者等研修（共通）	佐賀市	本村

	応用行動分析連続講座④	佐賀市	真崎・福田
1	佐賀県サービス管理責任者等研修（分野）	佐賀市	本村
	障害者支援施設部会全国大会	高知市	牧
	保健衛生部会研修会	佐賀市	田熊・最所
	応用行動分析連続講座⑤	佐賀市	真崎・福田
2	介護職員のためのメンタルヘルス研修	佐賀市	牟田・飯田
	倫理人権部会研修会	佐賀市	深町
3	指導部会研修会	佐賀市	淋・香月
	給食部会研修会	神埼市	天本（由）

3 視察等の受入 (名)

月	日	内 容	人数	月	日	内 容	人数
5	19	九州各県障害保健福祉主管課長会議視察	14	11	16	NPO 手のひらの会	10
6	1	吉野ヶ里福祉課 障害者係	20	1	19	長崎知的障がい者福祉協会	18
10	12	二日市東地区民生委員児童委員協議会	23	3	17	佐賀西部コロニー	7

4 防災・防犯管理

青葉園

- (1) 定期的な防火避難訓練を実施（月 1 回）
- (2) 弥生が丘・今町・柚比町地区の方の参加のもと夜間防火訓練を実施（年 1 回）
- (3) 受付にて記名、名札を来園者につけて頂くことの実施

青葉ホーム

- (1) 防火避難訓練を実施（年 2 回）
- (2) 鳥栖市役所と危険個所の現地確認と避難場所の確認

5 施設整備および環境の整備状況

- (1) 備品等の整備

ベンチ（4 台） 手すり付体重計（1 台） 車椅子体重計（1 台） 物置用プレハブ（1 棟）

6 寄付・寄贈

ご 芳 名
青葉園・グリーンファーム山浦・青葉ホームの利用者を支える会「みつば」様
佐賀県共同募金会 様
NPO 法人九千部クラブ 様
鳥飼 満行 様
中村 忠子 様
田中 理 様

VIII 障害福祉サービス事業及びその他社会福祉事業の実施状況

1 短期入所

利用者数・利用日数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実利用者数	0	0	0	0	2	1	1	0	0	0	0	2	6名
延べ利用日数	0	0	0	0	9	2	2	0	0	0	0	7	20日

2 日中一時支援

利用者数・利用日数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0名
延べ利用日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0日

3 青葉ホームの状況（青葉ホーム山浦・青葉ホーム弥生が丘Ⅰ・弥生が丘Ⅱ・弥生が丘Ⅲ）

（1）障害支援区分

（平成30年3月31日現在）（名）

区分 場所	非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
山浦	3	0	2	4	1	0	0	10
弥生が丘Ⅰ	0	1	1	2	6	0	0	10
弥生が丘Ⅱ	2	0	1	3	5	0	0	11
弥生が丘Ⅲ	3	0	1	5	4	0	0	13
合計	8	1	5	14	16	0	0	44

（2）日中活動状況

（平成30年3月31日現在）（名）

種別 場所	生活介護 事業所利用	就労継続B型・就労 移行支援事業所利用	就労継続A型事 業所利用	一般就労	その他	合計
山浦	0	5	3	2	0	10
弥生が丘Ⅰ	1	5	1	3	0	10
弥生が丘Ⅱ	4	5	0	2	0	11
弥生が丘Ⅲ	6	5	1	1	0	13
合計	11	20	5	8	0	44

IX 地域社会との交流

1 特別支援学校等実習受入状況

（名）

学 校 名	期 間	人数
小郡特別支援学校（高等部）	平成29年11月 6日～11月17日	1
筑後特別支援学校（高等部）	平成29年10月10日～10月20日	1
田代中学校	平成29年 9月 5日～ 9月 7日	1

2 介護等実習の受入状況
(名)

学 校 名	期 間	人数
九州医療専門学校	平成29年12月23日～平成30年3月31日	1
西九州大学	平成29年 8月14日～ 9月15日	2
西九州大学	平成30年 2月 5日～ 2月17日	3
佐賀大学	平成29年 9月 4日～ 9月 8日	1
佐賀大学	平成29年10月16日～10月20日	1

3 ボランティア活動状況

ボランティア名	内容	実施状況
今町消防団 様 佐賀銀行 様 九電工 様 西九州大学生 様	若楠感謝祭での販売、準備等	年1回
豊増 保夫 様	絵画クラブ	月2回
松隈 真由美 様	リズムダンス	月2回
コールトリンス	コーラス	年1回
篠原 正子 様	クリーニング作業	週1回
古庄 真 様	利用者との食事会開催	年3回
大石 優花 様	軽作業	週1回
川崎 郁子 様	編み物	月1回
古澤 和美 様 執行 チヨ子 様	リラックス体操	月2回

もしもしネット

I 障害者就業・生活支援センター事業の実施

職業生活において自立を図るため、就業及びこれに伴う日常生活、または、社会生活上の支援を必要とする障害者に対して関係機関との連携を図りつつ、障害者及び事業主等に必要な助言や支援を行い、雇用の促進及び職業の安定を図った。

平成29年度障害者就業・生活支援センター事業実施状況

1 障害種別・就業状況別の支援対象障害者（登録者）数 (名)

	身体障害		知的障害		精神障害	その他	合計
	うち重度		うち重度				
在職中	54	14	210	51	142	7	413
求職中	30	4	57	10	85	7	179
その他	4	1	22	0	6	2	34
合計	88	19	289	61	233	16	626
28年度	86	21	275	63	213	14	588

2 支援対象障害者に対する相談・支援件数（手段別）

(件)

	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
センターへの来所(本人・ほか家族等含む)	45	192	67	7	311
電話・メール相談(本人・家族のほか関係機関等の電話も含む)	327	2,004	1,370	31	3,732
職場訪問(定着支援ほか、職場実習支援含む)	84	843	400	5	1,332
家庭・入所施設への訪問	10	68	22	5	105
その他(ハローワーク同行訪問、各種手続き、病院受診同行、ケース会議他)	95	292	263	10	660
合 計	561	3,399	2,122	58	6,140
28年度	748	3,057	2,414	154	6,091

3 事業所に対する相談・支援割合（内容別）

雇入れに関する相談・支援	187 件
雇用する障害者の職場適応・職場実習に関する相談・支援	1,274 件
雇用する障害者の生活面に関する相談・支援	21 件
障害者の雇用支援制度に関する相談・支援	0 件
その他	27 件
合 計	1,509 件

平成 28 度	1,375 件
---------	---------

4 職場実習のあっせん件数

	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
H29	1	24	8	0	33
H28	1	20	10	0	31

5 就職件数及び就労支援継続A型事業所への就職件数

(1) 一般就労

	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
H29	5	27	23	1	56
H28	9	23	21	2	55

(2) 就労継続支援A型

	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
H29	3	6	21	0	30
H28	2	8	26	1	37

6 職場定着率（％）・・・1年経過時点

	身体障害	知的障害	精神障害	その他	平均
H29	78	78	52	100	69
H28	80	79	77	100	78

II 研修等の受講

- 1 障害者就業・生活支援センター就業支援担当者研修 7. 25-28（於：幕張・杉原）
- 2 全国就労支援ネットワーク 就労支援定着フォーラム 8. 4（於：大阪・杉原）
- 3 発達協会実践支援セミナー「認知の働きに配慮した指導の実際」 8. 9-10（於：有明・小川）
- 4 発達協会実践支援セミナー「愛着障害と双極性障害への理解と対応 発達障害関連含む」（於：有明・小川）
- 5 北九州エリア 就業支援実践研修 発達障害コース（於：福岡市・杉原）
- 6 第 2 5 回職業リハビリテーション研究・実践発表会 11. 9-10（於：有明・小川）
- 7 北九州エリア 就労支援実践研修 11. 14（於：長崎・権藤）
- 8 発達障害 TEACCH プログラム 11. 18（於：佐賀市・権藤、杉原）
- 9 障害者就業・生活支援センター就業支援担当者研修 12. 12-15（於：幕張・武田）
- 10 自閉症スペクトラム研修 明治安田心の財団 2. 10-11（於：大阪・権藤）
- 11 全国就労支援ネットワーク 全国フォーラム 2. 17-18（於：幕張・権藤）
- 12 第 1 回 訪問看護精神障害者地域支援研修会 2. 17（於：佐賀市・小川）
- 13 職業リハビリテーション研修 4. 11～3. 19 全 12 回（於：職業センター・全員）
- 14 障害者就業・生活支援センターブロック別経験交流会 11. 28-29（於：福岡・全員）

Ⅲ その他

1 関係機関との連絡会議の開催

(1) 平成 29 年 8 月 25 日 サンメッセ鳥栖

参加機関：東部地区 A 型・移行支援事業所、総合相談窓口（計 12 名）

議 題：東部地区「一般就労」の支援における現状報告と課題、意見交換

(2) 平成 29 年 12 月 1 日 サンメッセ鳥栖

参加機関：佐賀県就労支援室、地域 A 型支援事業所、B 型支援事業所、
移行支援事業所、ハローワーク鳥栖、特別支援学校、総合相談窓口（計 27 名）

議 題：精神障害者の就労支援について 障害者職業センター松本氏
もしもしネット 事業報告
意見交換 他

2 在職者交流会の実施

円滑な就業生活と職場定着を目的とし余暇活動の一環とした交流会の開催（年 4 回）

(1) 平成 29 年 4 月 24 日（療育園プレイホール 40 名）

救急救命士による心肺蘇生 AED 実践研修 日常生活における危険の講話

(2) 平成 29 年 8 月 6 日（佐賀市 24 名）

社会人のルールとマナーについてグループワーク研修

(3) 平成 29 年 12 月 3 日（弥生が丘まちづくりセンター 32 名）

自立を見据えた生活指導フードコーディネーターによる栄養講話 調理実習

(4) 平成 29 年 3 月 11 日（どんぐり村 28 名）

仕事における職場のマナーやストレスや対処方法についてグループワーク

Ⅳ 総括

29 年度はスタッフの欠員等があり、限られたマンパワーの中で月 1 回の職業センターでのセンター単独の研修のほか様々な研修、勉強会等各自がスキルアップに積極的に努めることができた。また、タイトなスケジュールの中でも、職場訪問件数において昨年比 200 件近く増加となったことは、各自の努力の賜物であると感じている。しかし、その定着支援をもってしても今年度の定着率は、10%弱の減に至った。そのことから改めて「定着」における困難さ（特に精神障害者）を感じ、今一度「職場定着」につながる支援を振り返り、来年度の課題として取り組む必要がある。それには当センターだけではなく、対象者にまつわる各関係機関との良好な連携を図り、職業マッチングにつなげることが重要と考えられるため、広い視野を培うことや関係の構築等、地域のネットワークを駆使し積極的に取り組んでいく。また生活面（生活困窮者、出所者等）の支援、高齢者の高次脳機能障害の増加、若年者の発達障害や年々増加し続ける精神障害者等ニーズは多岐に渡るため、今後も研修や勉強会等の学びの機会を設けスキルアップに努める。

年々様々な福祉サービスも増加する中で、センターも選ばれる時代となりつつあるため、数字だけを追い求めるような支援ではなく、目の前の状況に真摯に丁寧にかつ関係機関との連携

を図りながらタイムリーな支援を行い、対象者、事業所双方の安定した就労生活において安心感をもってもらえる支援を心掛けていく。

どんぐり村

I 運営概要

平成29年度は、就労移行支援事業を廃止し、就労継続支援事業B型だけの事業展開となったが、佐賀県や佐賀市からの事業（花苗提供、花壇管理）を請け負うことができ、利用者の社会参加や就労活動の場を拡げることができた。また、地域での作業が増えたことにより、地域の方との交流の機会も多くなった。また、年度途中より飲食部門、動物部門、ミルクプラント部門などの整理、統合を図り、経営の安定化に向けた改善を進めている。

II 利用者の状況

1 年齢分布図 (名)

	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～以上	合計
男	2	6	8	6	3	3	4	1	5	38
女	1	6	8	3	0	1	0	1	6	26
計	3	12	16	9	3	4	4	2	11	64

※最年少者 18 歳 最年長者 66 歳 総平均 35 歳

2 事業利用契約者数 就労継続支援事業B型 64名（男性38名、女性26名）

3 市町村別利用者数（受給者証発行市町村） (名)

	佐賀市	鳥栖市	神埼市	みやき町	上峰町	小城市	多久市	吉野ヶ里町	白石町	合計
男	20	2	9	2	0	1	2	1	1	38
女	13	0	3	2	0	3	5	0	0	26
計	33	2	12	4	0	4	7	1	1	64

4 手帳の所有状況（療育・身体障害者・精神保健福祉手帳 ＊複数所有者含む） (名)

	男	女	合計
療育手帳	35	24	59
身体障害者手帳	1	1	2
精神保健福祉手帳	3	2	5
合 計	39	27	66

III 事業の実施状況

1 就労継続支援事業B型（定員34名）

（1）サービス部門（物販、パン工房、体験工房、飲食サービス）

接客や製造などの作業を通して人と関わることの多い部署のため、お客様との対応が上手になったり、「ありがとう」と感謝されることで利用者の大きな自信につながった。

パン工房については、質の高いパン作りを目指し、お客様の評価につながってきている。

このため、2月より外販先を増やし、売上増に努めた。

(2) 牧場部門（農園芸、環境整備、動物飼育）

農園芸班については、佐賀市の緑化推進事業（花苗配布事業）の受託を受け、予定の3万本を納品できた。花苗の質も良いと配布先の公民館や小学校から評価を得ており、利用者にとっても花を育てる作業は、今まで以上にやりがいにつながった。

動物飼育班については、搾乳及びミルクプラントの事業を中止し、経営の安定化を図りながら、小動物館、乗馬場での利用者支援の充実とサービスの質向上に努めた。

(3) 福祉部門（軽作業班）

高齢化、重度化にともない、従来行っていた作業ができなくなってきた利用者も多くなってきた。作業環境の改善や活動内容の工夫など、作業効率、意欲の向上に努めた。また、精神的不安定な利用者に対して個別対応を行い、出勤率の向上に努めた。

(4) 行事等の開催

利用者の交流会や風船バレー大会への参加、日帰り旅行（大分サファリパーク）を実施し、就労に向けての意欲作り、余暇活動の充実に努めた。また、グリーンファーム山浦とのソフトボール大会実施など他施設との交流を深める活動も行った。

2 就労支援事業実績

(1) 入場者数実績 (名)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
12,227	23,282	6,047	6,040	9,037	10,224	13,161
11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
13,615	2,870	3,030	1,539	9,058	110,130	

(2) 収益実績 (千円)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
20,386	38,356	12,169	18,126	22,977	17,305	18,567
11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
18,880	13,848	6,750	3,848	13,306	204,518	

3 平成 29 年度工賃支給実績（平均工賃 21,768 円）

月	支給人数	支給額(円)	月	支給人数	支給額(円)
4	58	1,242,700	10	57	1,276,600
5	59	1,339,900	11	57	1,230,600
6	58	1,277,000	12	56	1,241,000
7	58	1,257,900	1	56	1,202,600
8	57	1,276,600	2	56	1,111,200
9	57	1,222,000	3	58	1,277,000
合 計			687		14,955,100

VI 地域社会との交流

1 実習

特別支援学校職場体験の受入れを積極的に行い、高等部卒業後の進路への理解を深めていけるように努めながら、利用につながる実習を行った。また、福祉系大学の現場実習や中学、高校、大学等のインターンシップ受入れを行い、障害者の就労支援、観光牧場の業務内容について学習する機会を作った。

(1) 特別支援学校職場体験実習

団体名	期 間	作業部門	人数
大和特別支援学校（高等部）	5月29日～ 6月16日	全部署	4名
大和特別支援学校（高等部）	10月30日～11月17日	全部署	4名
佐賀大学附属特別支援学校（高等部）	8月21日～ 8月28日 12月25日～12月28日	全部署	1名

(2) 社会福祉士実習

団体名	期 間	作業部門	人数
西九州大学社会福祉学科	8月14日～ 9月14日	全部署	3名

(3) その他

団体名	期 間	作業部門	人数
佐賀女子	7月24日～ 7月25日	動物	1名
三瀬中学校	8月 3日～ 8月 4日	動物	1名
鹿児島大学農学部	8月18日～ 8月24日	動物	1名
東海大学農学部	9月 4日～ 9月13日	動物	1名
佐賀県教育センターしいの木	11月20日～11月21日	パン工房・動物	5名
高志館高校	12月12日～12月15日	農園・泉・動物	2名

2 どんぐり村の利用と地域交流

団体名	期 間	会 場
佐賀北高校吹奏楽部演奏会	5月 7日	ひかりの広場
鍋島中学校吹奏楽部演奏会	5月14日	ひかりの広場
致遠館中学校農業体験	6月 2日	農園・動物
子育て応援セミナー（若楠療育園主催）	6月17日	森のコンサートホール
神埼高校吹奏楽部演奏会	7月 2日	ひかりの広場
上峰中学校・三田川中学校吹奏楽部演奏会	8月26日	ひかりの広場
佐賀城本丸除草ボランティア	10月 3日・11月28日	佐賀城本丸跡
佐賀市花ボランティアガーデニング教室	9月20日	どんぐり村農園
三瀬高原音楽祭	10月 7日～10月 9日	森のコンサートホール
大和中学校吹奏楽部演奏会	11月 3日	ひかりの広場

佐賀清和高校吹奏楽部演奏会	11月12日	ひかりの広場
さがふれあい芸術祭（佐賀県授産協主催）	12月 2日	森のコンサートホール

V 総務

1 職員状況 (名)

	管理者	サービス管理責任者	就労支援員	生活支援員	目標工賃達成指導員	職業指導員	事務員	合計
29年度	1	1	0	1	1	23	4	31
28年度	1	1	1	2	1	18	3	27

2 職員研修

研修名	場所	期日	参加者
法人新採研修	どんぐり村	4月3日～4月4日	原口
法人一年経過研修	若楠療育園	5月19日	田中佐・浦
接遇能力向上研修	佐賀市文化会館	5月26日	内藤
法人一年経過研修	若楠療育園	6月2日	石橋
法人一年経過研修	若楠療育園	6月9日	田中勇
指導的職員研修	佐賀市文化会館	6月14日	中村
法人危機管理研修会	若楠療育園	7月14日	鈴木
業務改善研修	佐賀市文化会館	7月24日	池田
授産協議会マナー講座	どんぐり村	8月24日	原口
九州授産施設（セルプ）研究大会	沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハ	10月31日～11月2日	佐藤・生野・黒木・池田
福祉サービス苦情解決研修	マリトピア	12月13日	黒木
授産協議会商品開発部研修	マリンメッセ	2月16日	高柳・池田

3 防災・安全管理

広い園内で作業を行うため、利用者の怪我や事故には特に配慮しながら支援を行った。また、送迎や作業時の車両運転、厨房やパン工房での火の取扱いなど安全に対する職員の意識向上を図った。

防災訓練は、営業中のお客様の誘導や避難場所の確認など実際の火災を想定した訓練を行い、非常時に適切な行動を取れるように実践的な訓練を実施した。

4 施設整備及び環境の整備状況

- ・コンサートホール吸収式温水器更新工事
- ・2連棟式ビニールハウス設置工事

- ・ハウス周辺造成工事
- ・冷蔵、冷凍車両（キャリア）リース契約
- ・凍結による管割れ等修復工事
- ・ハウス園芸用給水設備工事
- ・硬貨包装機リース契約

グリーンファーム山浦

I 運営の概要

若楠の基本理念である「入園者中心主義」「開かれた施設」「若楠ファミリー」を念頭に置き、利用者が楽しく働ける場、一般就労に向けて訓練を行う場を提供することができた。また、地域に密着した事業所として「梅まつり」、「ほんげんぎょう」、「子供体験教室」、「地域の美化活動」などの行事を行なうことで、地域の方々と交流ができた。

1 活動の状況

事業本来の役割（一般就労・工賃向上）を重視し、個々の能力を発揮できる支援を行うとともに、明るく楽しい職場づくりに力を入れた。

- (1) 事業の確立と就労支援会計の安定を図った。
- (2) 市・町、特別支援学校、もしもしネット、キャッチ等の関係機関との連携を強化し、利用者の生活環境における諸問題に取り組み、よりよい働く場を提供した。
- (3) 各機関との連携を図り、在宅者へのサービス提供の充実、利用者の増員に努めた。
- (4) 感染症に対する危機管理の徹底と対策に取り組んだ。
- (5) 保護者との信頼関係を築き、交流を深めることができた。
- (6) 危機管理意識を持ち作業時における事故防止や、お客様・取引先様への適切かつ迅速な対応を心がけた。
- (7) 食事提供で自主生産の食材をより多く取り入れ、満足度の向上を図った。
- (8) 各職員の連携及び体制の強化を図った。
- (9) 利用者への関わり方研修を行い、支援サービスの向上を図った

2 就労移行支援事業

従来の作業に加え一般就労に必要な基礎訓練（ピッキング・測量・選択・基礎マナー講座等）を行うことで、作業力・社会性の向上に努めた。また、企業見学・講習会・研修会を行うことで利用者の意識改革に繋げ、一般就労に向けた実習にも取り組むことができた。

3 就労継続B型事業

専門機関と連携し、各部署職員の専門性及び生産活動にかかる知識や能力が向上した。支援の幅も広がり利用者が主体となる作業内容を整える事が出来た。

また、生產品の安心・安全を追求しつつ作業効率及び生産性の向上を図った。販売販路の拡大にも積極的に努め、工賃向上に繋げることが出来た。

Ⅱ 利用者の状況

1 年齢別性別の状況

(1) 就労継続支援B型 (人)

年齢 性別	20歳未満	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65歳以上	計	平均年齢
男 性	0	9	11	15	4	1	1	41	39 歳 9 ヶ 月
女 性	1	4	2	5	2	0	0	14	38 歳 4 ヶ 月
合 計	1	13	13	20	6	1	1	55	39 歳 5 ヶ 月

(2) 就労移行支援

(人)

年齢 性別	20歳未満	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65歳以上	計	平均年齢
男 性	0	2	0	3	0	0	0	5	34 歳 10 ヶ 月
女 性	0	1	1	0	0	0	0	2	31 歳 0 ヶ 月
合 計	0	3	1	3	0	0	0	7	33 歳 9 ヶ 月

2 障害別性別の状況

(1) 就労継続支援B型 (人)

種別 性別	療育手帳 A	療育手帳 B	精神保健 福祉手帳 2 級	精神保健 福祉手帳 3 級	身体障害 者手帳	計
男 性	13	23	1	1	1	39
女 性	2	14	1	0	0	17
合 計	15	37	2	1	1	56

(2) 就労移行支援

(人)

種別 性別	療育手帳 A	療育手帳 B	精神保健 福祉手帳 2 級	精神保健 福祉手帳 3 級	身体障害 者手帳	計
男 性	0	5	0	0	0	5
女 性	0	2	0	0	0	2
合 計	0	7	0	0	0	7

Ⅲ 事業の実施状況

1 農園芸班 （作業科目）花苗栽培・花壇管理・鶏卵・野菜栽培・果樹栽培

園芸においては、市内公園、どんぐり村等の花壇管理を行い、花苗の植栽から管理まで行った。野菜栽培においては、(株)ヨコオと協同して、科学的な検証を行いながら有機栽培に着手した。鶏卵事業は、昨年からの増産体制が軌道に乗り、飼育環境の整備を行い産卵率も向上し、徹底した鮮度管理の中で、各方面の顧客に対して安定した供給が出来ている。また、園内外でガーデニング教室等を開催し、地域交流を行うことができた。

2 業務受託班 （作業科目）青葉園クリーニング・鳥栖市内公園清掃・児童発達支援センター清掃

クリーニング部門では、官公庁や外部からの受注が増え、収入の安定に繋がった。また、菌床椎茸部門では、外部アドバイザーと連携しつつ品質管理を強化し、年間を通して安定した収穫量及び収入に繋がった。清掃部門では、地域の中で清掃作業を行うことで挨拶やマナー等の社会性が身に付き、就労に対する意識改革に繋がった。

3 食品加工班 （作業科目）味噌・菓子

食品加工部門は、味噌加工を中心に行い、安定した味噌の供給をするために、衛生管理・品質管理を徹底し、鳥栖市給食センターの納入をはじめ、福祉事業所、保育園物販、個人への販売を行った。

菓子部門に関しては、主に受注やイベント販売に対応して生産を行った。人事異動により生産体制が整いつつある中で、今後の新商品開発や販売促進に繋げていく。

4 主な年間契約先

作業班	主な作業内容	納品・作業場所	契約先
園芸班	花壇管理業務	八ツ並公園他 7 ヶ所	鳥栖市
園芸班	花壇管理業務	どんぐり村園内	どんぐり村
園芸班	花壇管理業務	環境課へ納品 (200 ケース)	吉野ヶ里町
園芸班	花壇管理業務	筑紫野市カミーリア	筑紫野市
業務委託班	清掃業務	中央公園他 15 ヶ所	鳥栖市
業務委託班	清掃業務	児童発達支援センター	若楠療育園
クリーニング班	業務作業委託	青葉園クリーニング	青葉園

5 平成 29 年度 作業班売上

作業班	売上額
園 芸	23,119,304 円
加 工	5,986,672 円
業務受託 クリーニング	8,000,000 円
業務受託 菌床椎茸	7,905,164 円
業務受託 就労移行	4,246,257 円
共 通	734,232 円
合 計	49,991,629 円

6 就労移行支援事業 就職実績

トレーニングスタッフ	就 職 日	就 職 先
26 歳男性	平成 29 年 7 月 3 日	グルメデリカ
33 歳男性	平成 30 年 2 月 1 日	佐賀エレクトロニクス

7 平成 29 年度 工賃支給実績

就労移行支援			就労継続支援 B 型		
月	支給人数(人)	支給額(円)	月	支給人数(人)	支給額(円)
4	8	166,188	4	58	863,876
5	7	189,351	5	59	875,565
6	7	328,428	6	57	1,780,572
7	7	185,513	7	59	845,300
8	7	191,283	8	58	831,996
9	8	174,143	9	58	830,410
10	8	218,335	10	57	1,025,944
11	8	418,424	11	58	1,961,680
12	10	216,795	12	58	980,123
1	7	192,398	1	57	977,474
2	8	185,578	2	56	826,960
3	11	626,642	3	57	2,854,898
合計	96	3,093,078	合計	692	14,654,798

就労移行支援事業 平均工賃 32,220 円 就労継続B型支援事業 平均工賃 21,177 円
 合計平均工賃 22,523 円

IV 地域社会との交流

1 実習

(1) 特別支援学校

学校名	期 間	実 習 生
中原特別支援学校	6 月 12 日～6 月 23 日	高等部 2 年生 男子 1 名 女子 2 名
中原特別支援学校	11 月 6 日～11 月 17 日	高等部 3 年生 女子 1 名
中原特別支援学校	11 月 27 日～12 月 1 日	高等部 3 年生 男子 1 名
中原特別支援学校	12 月 4 日～12 月 8 日	中学部 2 年生 男子 3 名
大和特別支援学校	12 月 11 日～12 月 15 日	高等部 2 年生 男子 1 名

(2) その他

機関・団体名	期 間	実習内容・人数
佐賀県	7 月 24 日～7 月 25 日	新採職員研修 2 名
精華女子高等学校	7 月 31 日	介護実習 25 名

中原特別支援学校	8月2日	職員職場体験研修 2名
中原特別支援学校	8月4日	職員職場体験研修 1名
中原特別支援学校	8月22日	職員職場体験研修 1名
中原特別支援学校	8月23日	職員職場体験研修 2名
いぶき村	10月13日	事業所間相互現場実習 1名
Link to Link	2月1日～28日	職業訓練校事務実習 1名

2 ボランティア

名 称	主な活動内容	人 数
梅まつり	イベント対応・販売等	個人 17名
作業ボランティア	園芸班及び椎茸班の作業	実人員 3名

3 交流活動

- (1) 梅まつり 年1回 (2) ガーデニング教室 麓地区、鳥栖市内幼稚園、小学校
(3) ほんげんぎょう 年1回

4 見学者

機関・団体名	期 日	人 数
吉野ヶ里町	6月1日	20名
人権擁護委員会	6月7日	6名
基山町身体障害者親の会	6月20日	15名
社会福祉法人 龍口会	7月28日	16名
中原特別支援学校小学部	8月18日	7名
久留米市金島地区	11月14日	19名

V 総務

1 職員状況

※は短時間職員

	施設長	事務員	サービス管理責任者	厨房	就労移行職員			就労継続B型職員			合 計
				調理員	生活支援員	職業指導員	就労支援員	生活支援員	職業指導員	目標工賃達成指導員	
29年度末	1	1 ※1	1	※4	1	※1	1	1	13 ※9	1	20 ※15
28年度末	1	1 ※1	1	※3	1	※1	1	1	13 ※8	1	20 ※13

2 職員研修

(1) 園内研修

研 修 名	場 所	期 日	参加職員
関わり方研修	多目的ホール	3 月 28 日	全職員対象

(2) 外部研修

研 修 名	場 所	期 日	参加職員
根拠のある記録の書き方研修	佐賀市文化会館	6 月 15 日	田口 揚児
新任職員研修	佐賀市文化会館	7 月 5 日	塩月 佐智子
ボランティア勉強会	若楠療育園	7 月 23 日	西川 将史・松本 友美
がんばれ共和国	かんぼの宿 阿蘇	8 月 18 日～20 日	岡崎 皇太郎
まごころマナー講座	どんぐり村	8 月 24 日	家永 安幾
手をつなぐ育成会佐賀県大会	佐賀市文化会館	8 月 26 日	塩月 佐智子
第 2 回 新任職員研修	マリトピア	9 月 1 日	松本 友美・高田 保夫
市民公開セミナー	鳥栖市文化会館	9 月 2 日	田口 揚児
精神疾患に関する研修会	マリターレ創世	9 月 13 日	松尾 太敬
トーホー展示会	久留米中央公園	9 月 16 日	馬場 昭江・高良 千春 長家 美穂・中尾 真弓
施設間相互職場実習	みょうが塾	10 月 26 日	岡崎 皇太郎
セルブ研究大会	沖縄アーバンリゾート	11 月 1 日～2 日	田口 揚児
施設間相互職場実習	みょうが塾	11 月 8 日	西川 将史
防災研修	福岡市防災センター	11 月 29 日	鈴木 一也
就労支援フォーラム NIPPON 2018	ベルサール新宿グランド	12 月 9 日～10 日	塩月 佐智子・園田 裕介
発達障がい者就労支援者向け講習会	アバンセ	1 月 10 日	塩月 佐智子
新年情報交換会	グランデはがくれ	1 月 12 日	高崎 知洋・鈴木 一也 松尾 太敬・田口 揚児
佐賀中部情報交換会	どんぐり村	1 月 27 日	高崎 知洋・松尾 太敬・園田 裕介・酒井 勉・塩月 佐智子
発達障がい者就労支援者向け交流会	アバンセ	2 月 7 日	田口 揚児
中堅スキルアップ研修	佐賀市文化会館	2 月 8 日	渡辺 健
障がい者支援者カンファレンス	ホテルニュー久留米	2 月 16 日	鈴木 一也・松本 友美 井手 香詠
手づくりフェア	マリンメッセ	2 月 16 日	中川 孝子・井手 香詠
防火管理者講習	佐賀市文化会館	2 月 27 日～28 日	鈴木 一也
農福連携セミナー	グランデはがくれ	3 月 22 日	高崎 知洋・園田 裕介

3 防災管理

6 月に風水害、11 月と 3 月に火災を想定した避難訓練を実施し、防火管理者を中心に様々な状況を想定し、トレーニングスタッフ、職員の防災意識の向上を図った。

防火管理業務の引き継ぎ並びに防災計画の一部見直し、管轄消防署へ報告を行った。11 月、福岡市防災センターにおける研修に参加した。

4 施設設備及び環境の整備状況

- (1) 備品等の整備
- ・椎茸ビニールハウスの移設
 - ・更衣室の床上げ工事

- ・リコーソフトウェアほのぼの
- ・発電機

5 寄付

ご 芳 名
・みつばの会 様
・佐賀県共同募金会 様